

SANKO夢みなとタワー

SANKO夢みなとタワーは、「世界で最も低いタワー」と自虐的に言いながら地元住民が薦めるタワーです。展望台の高さは43メートルしかありませんが、日本海に面する弓ヶ浜半島の海岸線を360度見渡すことができ、遠くには大山、そして足元には境港の港が見られます。晴れた日には、いくつかの遠くの島まで見通せます。このタワーを設計したのは建築家の杉本洋文氏で、タワーの中心部には一对のチューブ状の鋼鉄製の塔が並び、それを外側から薄層を重ねた木材やガラス窓が取り囲んでいます。様々な構造部材を接続するために鋼鉄製のケーブルが張り巡らされており、それによって高さがあり光が多く差し込むアトリウムが作られています。タワーに隣接する大きなドームは、1階がタワーの玄関ホールとなっており、上階にはイベントスペース、会議室、および劇場があります。4階には、オーシャンビューの展望を楽しめるカフェがあります。

国際貿易についての展示

目玉は、3階にある環日本海研究室です。ここでは、鳥取県と文化交流のある6つの地域の伝統的な生活や現代の生活の様子を見ることができます。6つのうち、中国の河北省・吉林省・大連市、ロシアの沿海地方、韓国の江原道の5つが日本海に接しています。6つ目はモンゴルです。これら6つの地域それぞれの工芸、服装、芸術、およびその他歴史的・文化的に興味深い展示品を見ることができます。

国際コスプレ

環日本海研究室の目玉の一つに、モンゴルのユルトがあります。彫刻と塗装が施された木の枠組みに、フェルトが紐で被せられています。内部には、伝統的な様式で装飾された机、腰掛け、保管用の棚、そして高さのある長いすが置かれています。沿海地方を代表するのは300体のマトリョーシカ人形のコレクションで、そのほとんどが伝統的なデザインですが、マイケル・ジャクソンをはじめとする著名人をユーモラスにデフォルメしたものもあります。また、中国の伝統的な住宅の大きな模型も見どころの一つです。環日本海研究室の中でも特に興味深いのは、大きな衣装室で、日本だけでなく各地域の伝統的な衣装を試着することができます。帽子や履物、子供用、男性用、女性用のアクセサリーなどがあります。質の高い本格的なデザインのものも多く、各地域の風景が描かれた大きな背景が用意されているので、そこで記念写真を撮ることができます。

SANKO夢みなとタワーは旅客船ターミナルの隣にあり、全てのサインージや情報は多言語で表記されています。この国際色溢れる複合施設は、この地域の玄関口の役割を果たしています。